

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

第60回「子どもみこし」が盛大に開催 豪雨、一転猛暑に

記念すべき60回を数える子どもみこしは、前夜から降り出した豪雨で、翌未明には雨は弱まったものの、開催出来るか心配だった。会場作りは遅れ気味で、参加者の出足も悪い。しかし、巡行式の8時には雨も止み曇り空の一角に青空が覗きホットする。

巡行式は御嶽三吉神社にて執り行われ、町内の平安と無事を願いお祓いから始まり、祝詞のあと、会長を始め子ども代表など関係者が玉串奉奠

を行い、最後に実行委員長の蜂谷さんに合わせて参加者一同拝礼した。

◆NIPPPO様に感謝状

長年巡行式場として会場を提供されている(株)NIPPPO道北統括事業所様に感謝状と記念品を贈呈。参加者全員が拍手で感謝の意を伝えた。町内会長、実行委員長の挨拶の後、みこし行列が作られ町内に練り込んでいった。



上から順に、出発前の子どもたち、記念標柱を囲んでの記念撮影
下は時計回りに、テープカット、記念標柱、駒形屋様へ感謝状贈呈の様子

◆暑い中、ワッショイ

雨を降らせた曇り空から青空に替わると、強い光線と熱さで熱中症が心配される中、「ワッショイワッショイ」の勢いの良い掛け声が響き、行列を待つ町内会員が迎えるいつもの光景となった。

◆男山酒造の樽みこしが始まり

60回を数える子どもみこしは、昭和31年の上川神社例大祭に町内行事として参加することを決め、翌年、山崎酒造(現男山酒造)から樽みこしの寄贈を受け始まった。戦後復興から社会が安定し子どもが増える中10軒もあったという造り酒屋が地域の活動でみこしや半天を貸し出した時代と聞いた。生まれも育ちも新町っ子の

◆公園に桜の記念樹を

岡本会長(当時7歳)に聞いてみると「ウーン記憶にない、堤防で写真を撮ったのは覚えてる」とのこと。その後、昭和61年に駒形屋様から現在の宮型みこしが寄贈され樽みこしと一緒に練り歩くようになった。

60周年事業として、いつも休憩所の場所を提供してくださる丸駒シビルサービス様と駒形屋様に、感謝状と大きな餅の贈呈を行った。

旭西第一公園に10月頃、記念樹として桜を植える予定で記念標柱の除幕式を行った。「君たちが大きくなったとき桜も大きくなって君たちを迎えます」

◆ 今年の参加者は、子どもみこし58人、幼児みこし17人、付き添い18人、お手伝い関係者50人の総勢140名を超える人数であった。(小関)

◆ 若者の集いは、回覧で募集したもの、応募者が少なく中止に。再度開催するか、検討しています。(川原)



◆ふれあい絆レンジャー事業

旭川市補助対象事業「市民委員会チャレンジ事業」に採択された本事業では、災害の発生時に備えて避難支援体制づくりの取組などを行います。

しんせいレンジャーの成り手を募集中!

新西町内会は、市の防災課などと協力し、高齢者や身障者などが町内会区域内において安心安全に過ごせるよう、災害時の支援体制づくりを進めています。

災害の発生時に●避難の支援が必要であると思う方は、どうぞお申し込みください。

また、近所にお住まいの方の●避難を手助けできると思う方は、「しんせいレンジャー」の登録をしてください。この事業の取組には、たくさんの方の協力が必要ですので、よろしくお願いたします。

※お申込み・お問い合わせ：小野寺 (24-2197)

◎8月26日「ふれあい焼き肉パーティ」お楽しみに!

◆LED街灯8灯追加

◆ 今年、会館前の街路灯のほか、6・7条西の中通りの残り分と岡本印刷から堤防までの縦通りの8灯をLED化しました。(合田火防部長)

◆編集後記

▼司会をするといつも雨になる。みこしでは終了と同時に大雨で、ふれあい祭りも雨に祟られた。だから固辞していたが、今回は紙一重で乗り切った▼あの朝陽君が幼児隊の後で補助付自転車に乗っていた。そのまた後に母親の押す三輪車で参加の子。聞くと旭陽君とのこと。家はなんと隣同士、これ奇遇▼玉串を捧げた小学生、6年間全部参加し、そのまた前からも参加、これ強者です▼真の参加者はオジさんオバさんです。仕方なく参加し、土産作りや飲み物配り、会場作り、後片付け等。グチの一つも言いたくなるが、子どもの笑顔に接すると、やって良かったとなる不思議▼反省会、賽銭の多寡も大事です。でも60年マンネリになっていないか、子どもが減る中で今のままでいいのか。「こんな事があったのよ、聞いて、聴いてよ」これが来年に繋がるのです(小関)



新西町内会のホームページ : <http://www.potato.ne.jp/shinseichonakai/>